

# 『桜嵐記』

—人物相関図—

貞和3年(1347年)  
南北朝の動乱期

権力争い

北朝

足利尊氏  
<風間 柚乃>  
源氏の血を引く  
北朝の将軍

高師直  
<紫門 ゆりや>  
足利將軍家執事  
足利家第一の家臣

高師泰  
<蓮 つかさ>  
高師直の弟

饗庭氏直  
<結愛 かれん>  
足利尊氏の側近  
花一揆を率いる

花一揆  
<蘭世 惠翔>  
<菜々野 あり>  
<羽音 みか>  
足利尊氏の親衛部隊

仲子  
<白雪 さち花>  
高師直に囲われている  
公家の女

名子  
<晴音 アキ>  
高師直に囲われている  
公家の女

祝子  
<蘭世 惠翔>  
北朝の帝の姫

元中5年(1388年)  
吉野奥山・聖尼庵

楠木正儀  
【老年】  
<光月 るう>

弁内侍  
【老年】  
<夏月 都>  
尼僧

天皇家

後村上天皇  
<暁 千星>  
後醍醐天皇の  
世継ぎ

中宮顯子  
<天紫 珠李>  
後村上天皇の后

阿野廉子  
<楓 ゆき>  
後村上天皇の母

勝子  
<桜奈 あい>  
後村上天皇の側室

公家

四条隆資  
<白雪 さち花>  
大納言

二条師基  
<晴音 アキ>  
左大臣

北畠親房  
<佳城 葵>  
准后

洞院実世  
<姫咲 美礼>  
大納言

二条教基  
<清華 蘭>  
二条師基の息子

南朝の公卿  
<妃純 凛>  
<花時 舞香>

庇護

仕える

楠木家



弁内侍  
<美園 さくら>  
中宮顯子の女官

ジンベエ  
<千海 華蘭>  
弁内侍の護衛



楠木正行  
<珠城 りょう>  
楠木家の長男  
南朝軍の総大将

楠木久子  
<香咲 蘭>  
楠木三兄弟の母



楠木正時  
<鳳月 杏>  
楠木家の次男

百合  
<海乃 美月>  
楠木正時の妻  
大田佑則の娘

大田佑則  
<春海 ゆう>  
南朝の武士

大田百佑  
<英 かおと>  
大田佑則の息子

郎党の子  
<夏風 季々>  
<妃純 凛>

百姓の女  
<花時 舞香>  
<天愛 るりあ>

楠木の郎党

一平太  
<楓希 有翔>

二之輔  
<蒼真 せれん>

義三  
<朝陽 つばさ>

伊四之介  
<蘭 尚樹>

金五  
<空城 ゆう>

兵六  
<彩音 星凪>

權七  
<礼華 はる>

喜八  
<甲海 夏帆>

九兵衛  
<柊木 純斗>

清十郎  
<一星 慧>

十一郎  
<大楠 てら>

十二右衛門  
<彩路 ゆりか>

回想(南朝 後醍醐天皇の御代)

仕える



後醍醐天皇  
<一樹 千尋>  
鎌倉幕府を倒し、  
天皇家に権力を  
取り戻す

楠木正成  
<輝月 ゆうま>  
楠木三兄弟の父

楠木正行  
【少年】  
<白河 りり>

楠木正時  
【少年】  
<詩 ちづる>

楠木正儀  
【少年】  
<乃 凛>

北畠顯家  
<夢奈 瑞音>  
北畠親房の息子

日野俊基  
<朝霧 真>  
弁内侍の父

弁内侍  
【少女】  
<きよら 羽龍>